第1票 換気及び保温等定期及び臨時検査票

令和 年度				<u>学</u>	学 校 名						天候				
□ 5	定期 4	毎年 ひょじん	门心	<u>測定</u> 3 左公	三日日	時 令和 年	月	E	()	_	測定時間	時	分~	時	<u>分</u>
		奥気及び保温等			測定場所 年 組 教室						授業				
				<u>測定</u>	測定者 職名 氏名										
学校 保健 校菜 建 技 主 長 新 事 論															
冷暖房機・空気調和設備の種類 □ エアコン(1,2,3,6,7) □ 石油 (ガス) ファンヒーター(1,2,3,4,5,6,7,) □ 石油 (ガス) ストーブ (1,2,3,4,5) □ 市は必要な検査項目 NO. □ 電気ストーブ(1,2,3) □ 床暖房(1,2,3) □ その他 () □ 設備なし (1,2,3)															
		外 気		開始時(:)		分後 (:)		終了直前 (::)			測定基準				
1温 度		$^{\circ}$ C		($^{\circ}\!\mathbb{C}$	$^{\circ}\!\mathbb{C}$		$^{\circ}\!\mathbb{C}$		18°C	18℃以上28℃以下であることが望ましい				
2 相対湿度				1	%	%	,	%		30%	30%以上80%以下であることが望ましい				
3二酸化炭素(CO ₂)		ppm %		p	pm %	ppm %									
	4 一酸化炭 素(CO)			p	pm	pp	m	ppm		m 6ppr	6ppm 以下であること				
使用時	5 二酸化窒 素(NO2)					ppm				0.06	0.06ppm 以下であることが望ましい				
冷暖房機 空気調和	6 浮遊粉じ ん			mg/r	n³	mg/m³		mg/m³		0.10	0.10mg/㎡以下であること				
設備使用 7気 流				m/₹	m/秒 r		m/秒		0.5m/秒以下であることが望ましい						
測定機器		温度・相対湿度 : CO ₂ :		O_2 :	C	0 :	NO ₂ :		浮遊粉じん:			気流:			
指導助言事項															

注 1) 測定時換気の状況は、裏面の図に記入 2) 二酸化炭素は授業終了直前の結果で評価 3) 浮遊粉じんを省略する場合は「省略」と記入 4) 測定不要(適用外)の項目は斜線を引く (令和7年4月1日改訂)

教室における測定時の状況

